

平成31年度 柏市教職員人材育成指標

教職員の姿	資質・能力	ステージ	第1ステージ (基礎形成期)	第2ステージ (伸長期)	第3ステージ (充実期)	
			基礎的・基本的な能力を身に付けるとともに、実践力を磨き、組織に活力を与え、教職の基盤を固める(学級・教科担当等)	専門性を高め、それらを生かし、チームリーダーとして推進力を発揮する(学年・分掌等のリーダー)	学校のめざす方向を理解し、豊富な経験を生かし、積極的に人材育成や学校運営に参画する(学校全体のリーダー)	
教職員としての愛情と使命感を持ち、相互に力量を高め合い、連携協力して課題を解決する教職員	教育愛		教職への誇りと強い情熱をもち、児童生徒への愛情をもった教職員			
	使命感・責任感		高い倫理観をもち、児童生徒と真剣に向き合う教職員			
	向上心・研修意欲		広い視野をもち、常に自らの課題を設定し、学び続ける教職員			
	同僚性		相互に力量を高め合い、連携協力して課題を解決する教職員			
	生徒指導力	個別指導	①児童生徒理解(見立てる)力	□児童生徒の発達段階の特性を知り、多面的・総合的に児童生徒を理解することができる。	□児童生徒の発達段階や、心身の状態を把握し、効果的な指導ができるとともに、他の職員に助言することができる。	□児童生徒の発達段階や、心身の状態に応じた効果的な指導について、根拠に基づいた助言や、学校全体に向けて発信することができる。
			②信頼関係を構築する力	□児童生徒の問題(いじめ、不登校、学力不振等)に対して、管理職や他の教職員の指導助言のもと、組織的な対応ができる。		
			③教育相談対応力			
	集団指導	①集団を理解する(見立てる)力	□集団づくりや集団を理解する理論を身につけ、必要なルールやマナーを習得させることができる。	□共感的な人間関係を基盤として、自己決定の場を設け、自己存在感を高めることができる。	□生徒指導の機能を教育活動全般に生かし、指導的な立場からその重要性を発信することができる。	
		②ルールやマナーを習得させる力	□特別な支援を必要とする児童生徒の状況を把握し、その特長に目を向けて学校生活を送るための指導・支援を行っている。	□特別な支援を必要とする児童生徒の状況を把握し、その特長を活かして学校生活を送るための指導・支援の工夫について改善に向けた助言ができる。	□特別な支援を必要とする児童生徒の状況を把握し、その特長を活かして学校生活を送るための指導・支援の工夫について他の教職員に発信することができる。	
		③人間関係(教師と子ども・子ども同士)づくりの力				
特別支援教育	①特別な支援を必要とする児童生徒への生活上の支援					
授業力	授業構想	①実態把握力	□学習指導要領の内容を理解し、単元や本時のねらいを明確にすることができる。	□「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、単元や授業を構想することができる。	□育成すべき資質・能力を明確にし、創意工夫のある授業づくりができる。	
		②教材研究力	□「指導と評価の一体化」の意味を理解し、授業の計画を立てることができる。	□単元全体を見通した指導と評価の計画を立て、評価の場を適切に位置付けることができる。	□「主体的な学び」につなげる評価方法を把握し、教科の目標に迫る授業を構想することができる。	
		③授業デザイン力				
	授業展開	①意欲向上力	□学び合い等の場面を取り入れた授業を展開することができる。	□言語活動の充実を図ることで、思考力・判断力・表現力や意欲を高める指導を行うことができる。	□児童生徒による主体的・能動的な活用・探究のある授業を展開することができる。	
		②授業コミュニケーション力	□児童生徒の興味・関心・意欲を引き出す発問・指示・説明・板書・ICT活用等を適切に行うことができる。	□指導技術を高め、指導形態を工夫することで、学習状況に応じて、適切に補充的・発展的な指導をすることができる。	□必要な知識・技能を教授しながら、児童生徒自身が学び合い、高め合う授業を実践することができる。	
		③即時対応力				
		④教授活動力(発問・板書・ノート指導・ICT活用)	□基本的な学習規律を指導することができる。	□「第1ステージ基本チェックリスト」を活用し、指導方法の工夫・改善を行うことができる。	□「授業の改善チェックリスト」を活用し、継続的な授業改善に取り組み、自己の専門性を向上させることができる。	
		⑤学習規律指導力				
	授業省察・改善	①振り返り力				
	授業研究・研修	①能動的研修力	□進んで授業を公開し、他の教職員の指導・助言を受け、授業を改善することができる。	□研究授業を積極的に行い、授業力を向上させることができる。	□今日的な教育の動向を把握し、求められる専門性を追求することができる。	
②専門性探究力		□他の教職員の授業を積極的に参観し、授業に生かすことができる。	□校外の研修等に進んで参加し、専門的知識・技能を習得することができる。	□研修等で得た情報や自らの実践を発信することができる。		
特別支援教育	①特別な支援を必要とする児童生徒への学習上の支援	□特別な支援を必要とする児童生徒の状況を把握した上で、個別の教育支援計画や指導計画等を作成し、特長を活かして学習活動に参加できるよう指導・支援の工夫を行っている。	□特別な支援を必要とする児童生徒の状況を把握した上で、個別の教育支援計画や指導計画等を作成し、特長を活かして学習活動に参加するための指導・支援の工夫について改善に向けた助言ができる。	□特別な支援を必要とする児童生徒の状況を把握した上で、個別の教育支援計画や指導計画等を作成し、特長を活かして学習活動に参加するための指導・支援の工夫について他の教職員に発信することができる。		
組織経営力	組織マネジメント(学級・学年・学校)	①状況把握・分析・課題発見力	□学校教育目標を理解し、学級経営や教科経営の方針を立て、一貫性のある指導を行うことができる。	□学校教育目標の実現に向けて手段や方法を工夫改善し、教育活動を計画的に推進することができる。	□学校の課題を的確に把握し、問題提起するとともに、改善策を提案するなど、学校運営に進んで参画することができる。	
		②目標設定力	□担当する校務分掌について企画立案したり、見直しを持って正確に処理したりすることができる。	□校務分掌について、企画立案する際、事前の調整等により効率化を図ることができる。	□学校運営において、関係者間の調整・進行管理・関係教職員への指導助言を行い、教育活動を活性化させることができる。	
		③企画・調整力				
		④実行力・統制力				
	資源(人・もの・情報・学校図書館・時間・資金等)の活用	①資源開発・活用力	□学校内外にある資源を教育活動に生かすことができる。	□様々な資源を適切に評価し、教育活動に効果的に活用することができる。	□学校の状況の改善や課題の解決のために、資源の開発と適切な活用方法を考え、教育活動全体の充実を図ることができる。	
		②情報収集・分析力・発信	□スケジュール管理に努め、時間や提出期限等を守ることができる。	□適切な物品管理や予算執行により、教育活動の充実を図ることができる。		
		③時間・スケジュール管理力				
		④財務管理力				
	危機管理	①早期発見	□危機管理の重要性を理解し、危機を察知した場合に、素早い行動をとることができる。	□予想される危機を想定し、未然防止のための工夫や準備を行うとともに、早期発見、早期対応に努めることができる。	□学校安全計画等の見直しを通して、自校の課題を分析し、平常時の未然防止、危機発生時の対応や再発防止を組織的に推進することができる。	
		②早期対応	□安全や職務を遂行する上で生じた課題等について、時機を逸することなく「報告、連絡、相談」することができる。			
③再発防止						
④未然防止						
連携・協働	同僚との連携・協働	①コミュニケーション力	□同僚のアドバイスを謙虚に聴いたり、疑問点や悩みを相談したりしながら、同僚と協力して、円滑に職務を遂行することができる。	□互いの課題や悩みに気づき、相談に応じるなど、支え合い学び合う環境をつくるとともに、積極的に支援することができる。	□管理職や教職員間の意思疎通を図り、組織力を高めるとともに、後進の育成を行うことができる。	
		②情報共有力	□保護者、地域、関係機関と丁寧に関わり、連携・協働して教育活動を行うことができる。	□教育活動における課題解決に必要な関係機関について理解を図ることができる。	□保護者、地域、関係機関に対して、学校の考えを明確に示すとともに、連携・協働して教育活動をより高いものにする事ができる。	
		③チーム対応力				
		④互いに学び合う力				
	保護者・地域・関係機関との連携・協働	①保護者対応力				
		②地域連携力				
		③関係機関連携力				
		④情報発信・収集力				